

三菱 局所用 ロスナイ

天井埋込形マイコンタイプ（フリープラン対応形）

形名

LKY-50RX

据付工事説明書

販売店・工事店様用

据付工事を始める前に、この据付工事説明書をよくお読みください。

据付工事は、必ず専門の工事店で実施してください。

電気工事は電気工事士の方が実施してください。

（お客様自身で据付けしないでください。無資格者の電気工事は法律で禁止されています）

別冊の「取扱説明書」はお客様用です。据付工事が終わりましたらこの説明書とともに、お客様に必ずお渡しして、使用方法を説明してください。

■この製品にはリモコン他、別売のシステム部材が必要です。カタログ等により別途ご用意ください。

もくじ



ページ






安全のために必ず守ること	2～3
外形寸法図	4
標準据付例	5
据付方法	6～19
機能設定	20～23
据付工事後の確認	24
試運転	25～26

安全のために必ず守ること







■ 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

■ “図記号” の意味は次のとおりです。



 警告	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
 注意	誤った取扱いをしたときに軽傷または建物・機械などの物的損害に結びつくもの

 禁止	 アース線接続
 分解禁止	 指示に従い必ず行う
 風呂・シャワー室での使用禁止	



警告

 禁止	低温（0℃以下）となる場所には据付けない （配管などが破裂し、水漏れの原因になります）	 指示に従い必ず行う	本体の据付工事は十分強度のあるところを選んで確実に行う （落下によりけがをすることがあります）
 分解禁止	改造や必要以上の分解をしない （火災・感電・けがの原因となります）		端子台接続部は、指定の電線を使用して、抜けないように確実に接続する （接続に不備があると火災のおそれがあります）
 風呂・シャワー室での使用禁止	浴室など湿気の多い場所には、本体・リモコンとも取付けない （感電や故障の原因になります）		電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および据付工事説明書に従って取付けし、必ず専用回路とし、かつ定格の電圧・ブレーカーを使用する （電源回路容量不足や取付不備があると感電、火災の原因になります）
 アース線接続	アースを確実に取付ける （アースを取付けないと故障や漏電のときに感電の原因になります）		漏電保護用に電源側へ漏電ブレーカーを使用する （漏電した場合、火災の原因になります）
 指示に従い必ず行う	定格電圧、制御容量範囲で使用する （間違った電圧で使用すると火災や感電の原因になります）		製品金属部（金属製ダクト）がメタルラス張り、ワイヤラス張り、ステンレス板などの金属と電氣的に接続しないように取付ける （接続されていると漏電した場合、火災の原因になります）
	コントロールボックスカバーは施工後、必ず取付ける （ほこり・湿気などにより漏電・火災の原因になります）		電気工事の際は、必ず分電盤のブレーカーを切る （通電状態では感電やけがをすることがあります）
	外気の取り入れは、燃焼ガス等の排気を吸い込まない、積雪で埋もれたりしない位置を選ぶ （新鮮な空気が入らず、酸欠状態になるおそれがあります）	凍結のおそれのある地域では、必ず凍結防止工事を行う （配管などが破損し、水漏れの原因になります）	

注意

 禁止	高温（40℃以上）や直接炎があたったり、油煙の多い場所には据付けない （火災のおそれがあります）	 禁止	ドレン配管の途中に市販のドレンポンプ（ドレンアップメカ）を接続して排水を処理しない （ドレンポンプの故障により水漏れし、天井・床・その他、大切なものを濡らす原因になります）
	機械および化学工場など酸・アルカリ・有機溶剤・塗料など有害ガス・腐食性成分を含んだガスが発生する場所には据付けない （絶縁劣化による漏電火災や故障の原因になります）		ドレン配管の先端を雨どい等に入れない （大雪時、雨どいが凍結して排水されず、本体から水漏れする原因になります）
	塩害・温泉害などの発生している場所には据付けない （絶縁劣化による漏電火災や故障の原因になります）		

⚠ 注意

 指示に従い 必ず行う	凍結のおそれのある地域ではドレン配管を凍結しない場所に施工するなどの凍結防止処理をする (配管などが破損し、水漏れの原因になります)	 指示に従い 必ず行う	吊りボルト・ナット・ワッシャーは必ず指定のものを使用する (指定以外のものを使用すると落下の原因になります)
	運搬・施工時は天吊金具を持って行う (ダクト穴部を持つとけがをすることがあります。また、内部のスチロールを破損することがあります)		据付けの際は手袋を着用する (着用しないとけがの原因になります)
	本体より室外側のダクトは室外に向かって下りこう配 (1/30以上) になるように取付け、断熱処理を確実に (雨水の浸入による漏電・火災や器財の損傷のおそれがあります)		ドレン配管工事は据付工事説明書に従って確実に排水するよう施工し、結露が生じないよう断熱処理をする (配管工事に不備があると、水漏れし、天井・床その他、大切なものを濡らす原因になります)
	据付け後長期間使用しないときは、必ず分電盤のブレーカーを切る (絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります)		製品の運搬には十分注意して行う (原則として二人以上で行ってください。PPバンドなどで所定の位置以外を持って製品を動かさないでください。素手で板金部品などに触れるとけがをすることがありますので保護具をご使用ください)

お願い

- 外風の強い場所や室内外の圧力差がある場合、寒冷地や霧の発生しやすい場所では運転停止時に、冷氣・外風・霧・高温高湿空気が浸入することがありますので、電動ダンパーを必ず併用してください。また、寒冷地や霧の発生しやすい場所以外でも室内外の圧力差や外風により外気が製品内に侵入するおそれがありますので、電動ダンパーの併用をおすすめします。
- 霧の多発地域で長時間使用となる場合、耐外風雨・霧浸入防止フード (PZ-N20CVU) を取付けてください。
- 天井材は共鳴しにくい材質をご使用ください。
- 室外側の OA (外気)、EA (排気) ダクト、室内側の SA (給気) ダクトおよび排水配管は結露防止のため断熱処理を行ってください。
- 寒冷地などでは使用条件範囲内で使用する場合でも、外気条件と天井裏温湿度条件によっては本体表面およびダクト接続部が結露・結氷するおそれがあります。このような使用条件下で使用される場合は、断熱材の重ね貼りの追加工事を実施してください。
- 濡れて困るものの上に製品や給気口を設置しないでください。外気や室内、設置場所の温湿度条件 (例：夏の高温時に室内外の温度差が大きいとき) により製品や給気口周辺から露が落ちる場合があります。
- 雨水浸入防止対策を施してください。(標準据付例をご参照ください)
- 給気・排気が混ざらない配管工事を行ってください。
- 給気側屋外フードは、近くに窓面などがあり、照明光に虫が集まりやすい場所に設置しないでください。
- 室外側の OA (外気)、EA (排気) ダクトに過大な圧力損失がかかると RA (還気) 側から SA (給気) 側、もしくは EA (排気) 側から OA (外気) 側への空気漏れが増加する傾向があります。OA 側、EA 側に過大な圧力損失がかからないように施工してください。
- SA (給気) 口は RA (還気) 口と同じ空間か、もしくは隣り合う空間に設けてください。居室への SA (給気) 設置はおすすめしません。また、異なる空間から RA (還気) を取って混合するとおおいが強まり、SA (給気) でおおいを感じる場合があります。本製品は代表的な臭気として、アンモニア、メチルメルカプタン、硫化水素を想定しています。芳香剤などの香りの強いものを RA (還気) より吸い込んだ場合には、SA (給気) でおおいを感じる場合があります。
- 排水工事は各市町村の条例に従ってください。
- 喫煙室での換気用途としてはご使用できません。
- 本製品は、定期的なメンテナンスを怠ると性能低下の原因となります。メンテナンスのために必ず本紙に記載しているメンテナンススペース、点検口を設置してください。
- 次のようなダクト工事はしないでください。風量低下や異常音発生の原因になります。

● 極端な曲げ



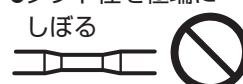
● 多数の曲げ



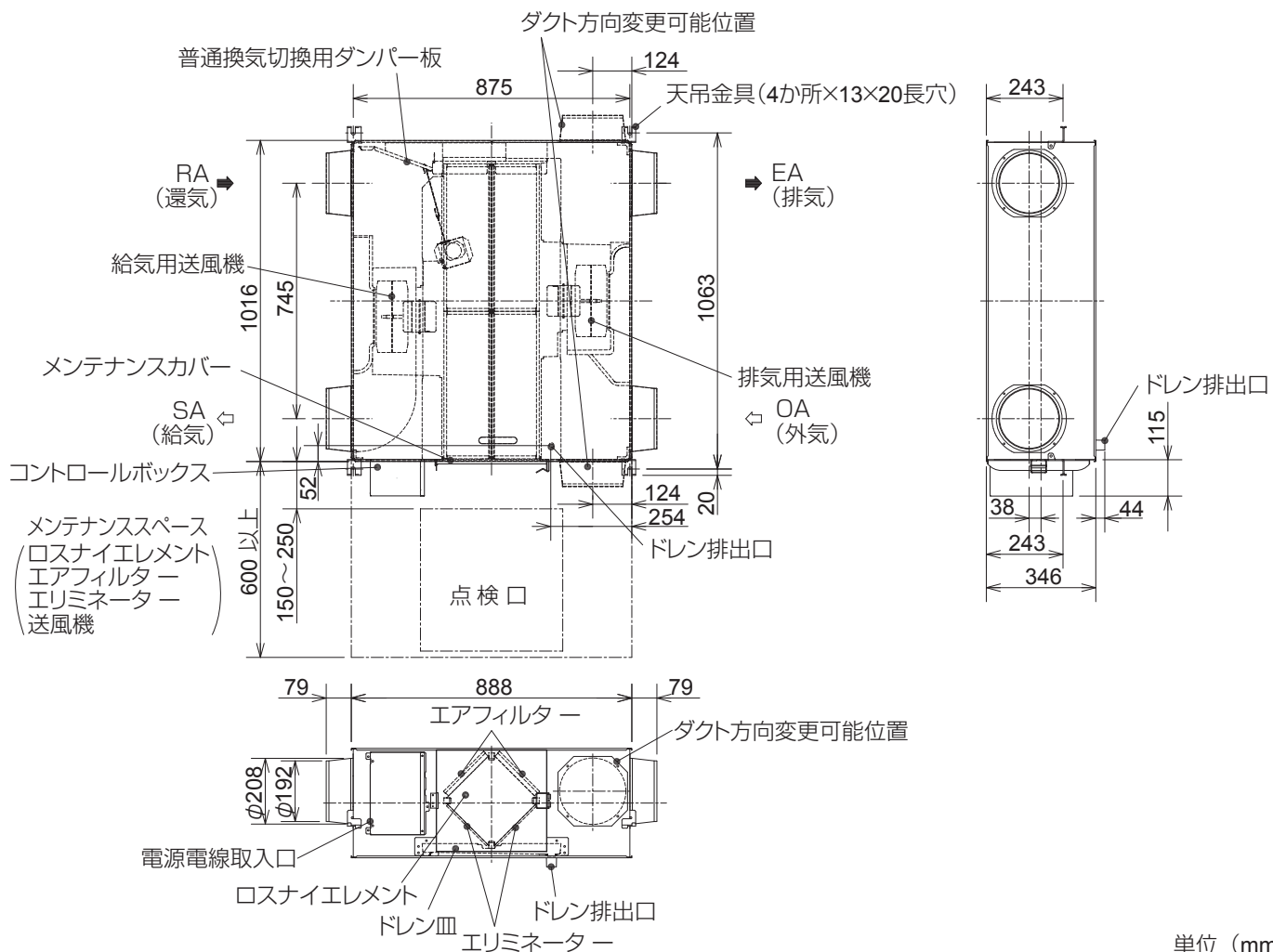
● ダクト接続フランジのすぐそばでの曲げ





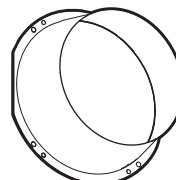
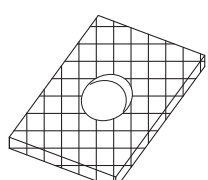
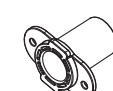

● ダクト径を極端にしぼる



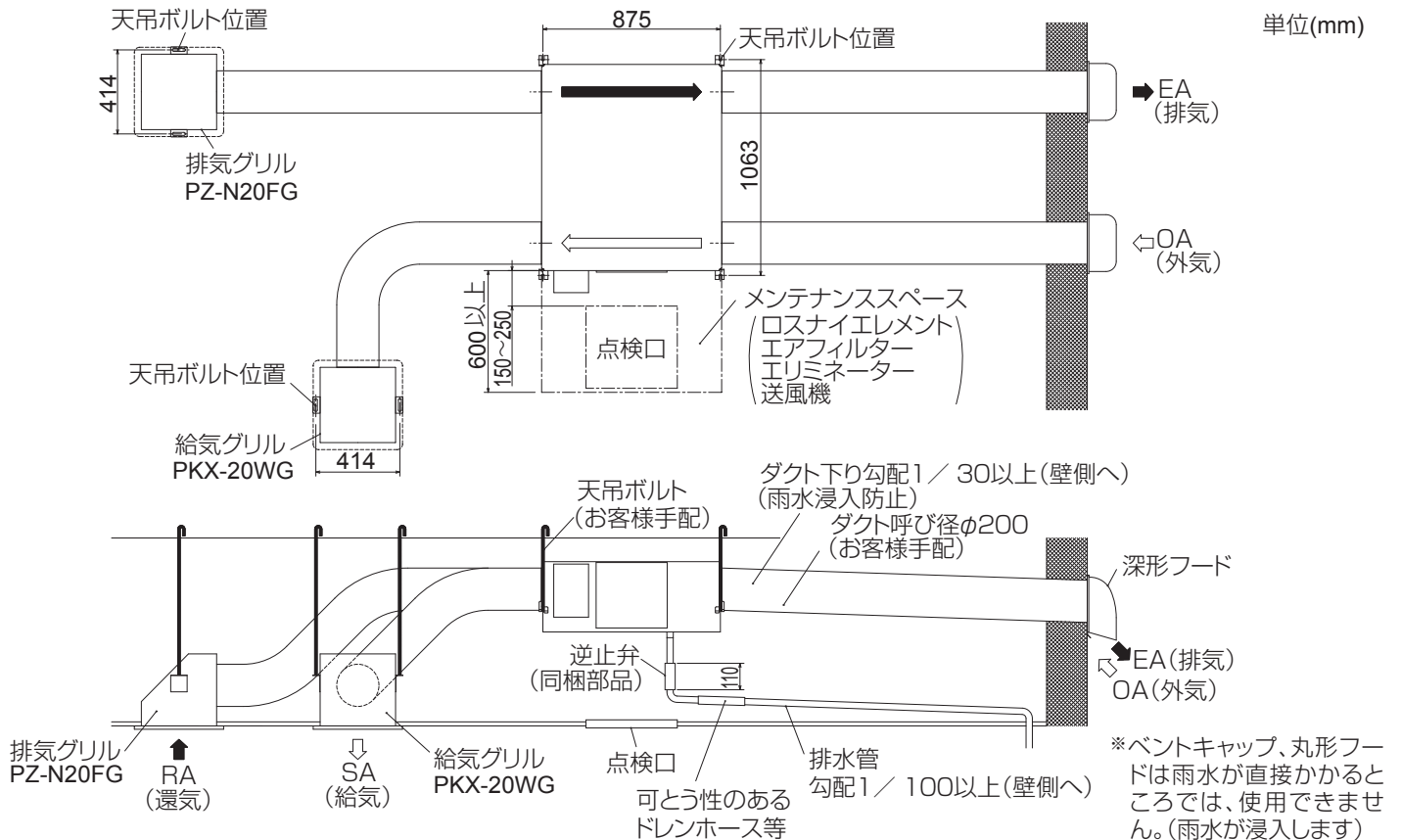
外形寸法図



付属部品

<p>①取付ネジ 十字穴付トラスタッピンネジ4×8 (フランジ接続用) ……16本 十字穴付トラス小ネジM5×10 (天吊金具固定用) ……4本</p>  <p>十字穴付トラス段付タッピンネジ4×9 (黒色) (ドレン排出口固定用) ……2本</p> 	<p>②ダクト接続フランジ…4個 (SA、EA側に重ねて 入っています)</p> 	<p>③断熱材 ドレン排出口用 ……1個</p> 	<p>④ドレン排出口 ……1個</p> 	<p>④逆止弁付ドレン トラップ……1個</p> 
---	--	---	--	---

標準据付例

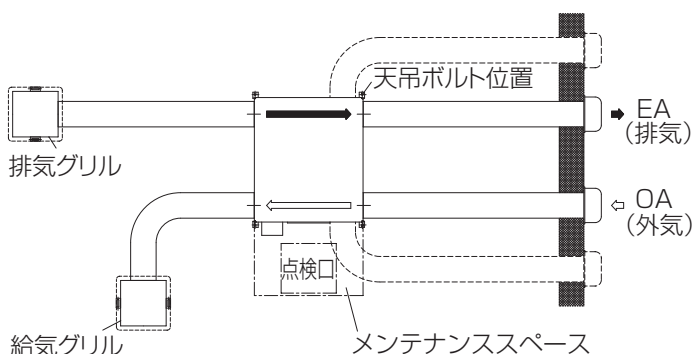


■給気口には局所用ロスナイ給気グリル (PKX-20WG, PKX-20DWG) を必ずご使用ください。
(夏季の吹出部の結露防止)

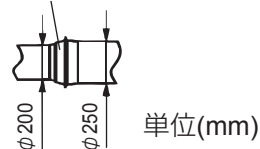
■本製品は梱包状態から天地逆向きで設置します。
上下面を反転して据付けてください。

■OA・EA側ダクト長さ
深形フードご使用の場合：1m以上

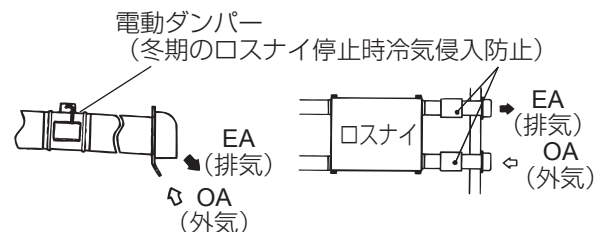
■破線のように室外側ダクトの方向が変換できます。
●防振吊金具を使用する場合は、ダクトの干渉を防ぐため防振吊金具を製品上面より上側に設置してください。



ダクト変換
アタッチメント
(ダクト径を変更する場合)



■冬期に凍結のおそれのある地域では、ロスナイ停止時における外気 (冷氣) 侵入防止として、電動ダンパーを必ず併用してください。

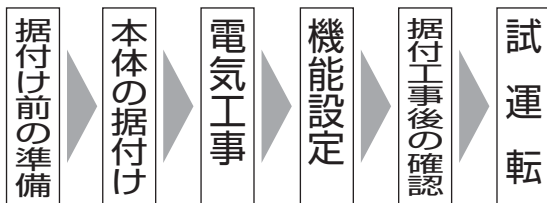


■ロスナイエレメント、エアフィルター、エリミネーター、送風機取出側にはメンテナンスのため、点検口 (□450または□600) とメンテナンススペースを必ず設けてください。

■設置場所が0℃以下とならないようにしてください。ドレン配管が凍結し、機外に水が漏れるおそれがあります。凍結のおそれがある地域ではドレン配管に凍結防止 (凍結防止用ヒーター等市販品の施工) をご検討ください。

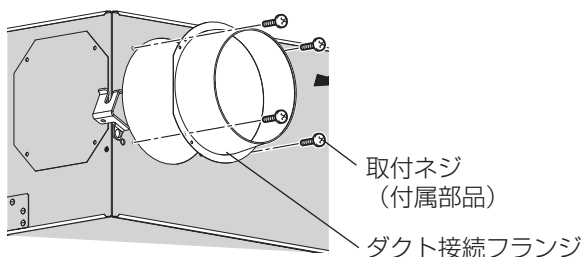
据付方法

■据付工事の流れ



この製品は、室外側ダクト（EA・OA）の方向を変更することができます。
詳しくは「室外側ダクト（EA・OA）の方向を変更する場合」を参照してください。

据付け前の準備



ダクト接続フランジの取付け

ダクト接続フランジを付属の取付ネジで本体に取付ける。

お願い

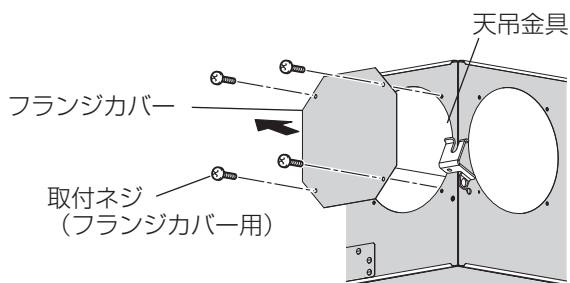
- ダクト接続フランジを取付ける前に本体内に異物（紙・ビニールなど）が入っていないことを確認してください。

■室外側ダクト（EA・OA）の方向を変更する場合

1

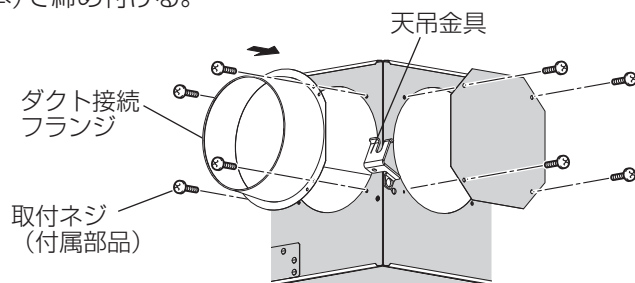
1 フランジカバーの取りはずし

フランジカバーの取付ネジ(4本)をはずし、フランジカバーを取りはずす。

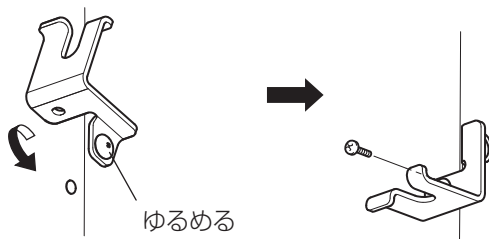


2 ダクト接続フランジの取付け

- 1.ダクト接続フランジを、付属の取付ネジで本体に取付ける。
- 2.取りはずしたフランジカバーを、取りはずした取付ネジ(4本)で締め付ける。



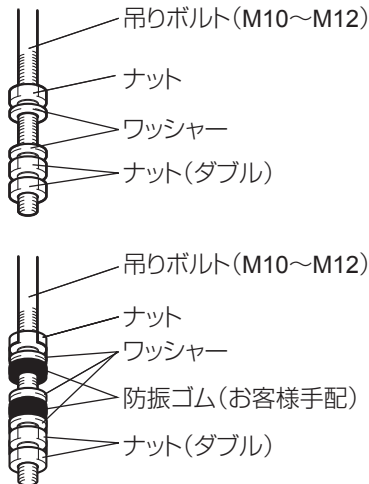
2



天吊金具の固定

- 1.天吊金具のネジをゆるめる。
 - 2.ゆるめたネジを中心に天吊金具を90°回転させ、水平にする。
 - 3.ゆるめたネジおよび付属の取付ネジ（十字穴付トラス小ネジ M5）で製品にしっかり締め付け、固定する。
- ※天吊金具は工場出荷時、本体にたたんだ状態で固定されています。

3



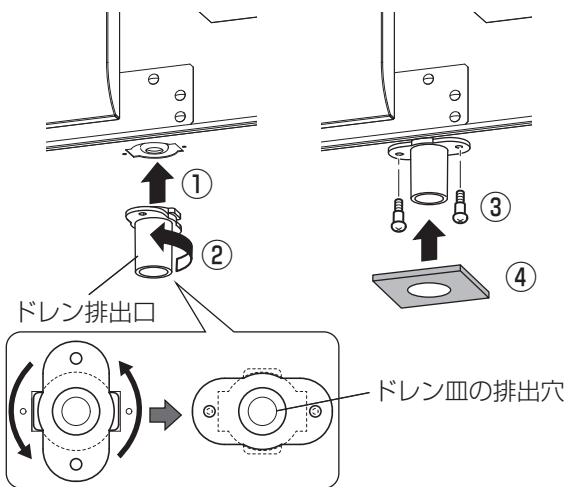
ワッシャー・ナットの取付け

あらかじめ埋め込んである市販の吊りボルト（M10～M12）に左図のように市販のワッシャー（外径M10で21mm以上、M12で24mm以上）・ナットを取付ける。ゆるみ防止のためダブルナットで確実に取付ける。

【防振ゴム（お客様手配）を使用する場合】

防振ゴム（お客様手配）を使用する場合は、強度低下の原因になる可能性がありますので、左記のような施工を推奨します。

4

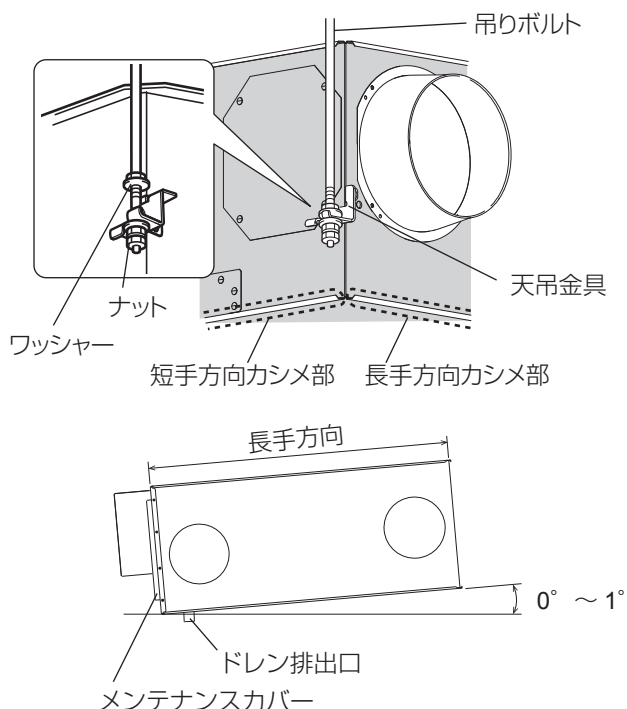


ドレン排出口の取付け

- ① ドレン排出口（付属部品）を天板面の穴に挿入する。
- ② ドレン排出口を天板の穴に合うように回転する。
- ③ 十字穴付トラス段付タッピンネジ4×9（黒色、付属部品）2本で固定する。
- ④ 断熱材を穴に合わせてドレン排出口の上から貼り付ける。

本体の据付け

■本製品は梱包状態から天地逆向きで設置します。上下面を反転して据付けてください。



本体の固定

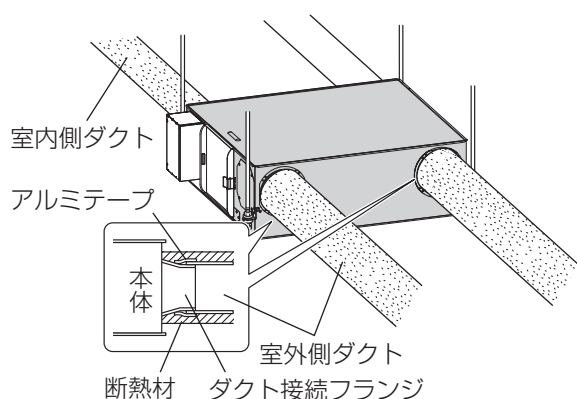
天吊金具を吊りボルトに引っ掛ける。本体を短手方向は水平、長手方向は水平もしくはメンテナンスカバー側を下に1°以内に調節し、ゆるみ防止のためダブルナットで確実に締め付ける。

- 上記据付けが守られないと、排水が排出されず、残水や水漏れの発生の原因となります。

お願い

- 吊りこう配は左図の通り、製品下面端部のカシメ部で水平器等を用いて確認してください。
- 本体を吊り上げるとき、本体やコントロールボックスに無理な力を加えないでください。（本体に歪みが生じ、密閉性が損なわれ、有効換気量率の低下の原因となります）
- 防振吊金具を使用し、かつダクト方向を変更する場合は、ダクトとの干渉をさけるため、防振金具は製品上面より上側に設置してください。
- 吊りボルトは振れ止め用耐震支持部材にて必ず補強を行ってください。

据付方法 つづき



ダクト接続

1. ダクトをダクト接続フランジにしっかり差し込み、風漏れのないよう市販のアルミテープを巻き付ける。
2. ダクトはロスナイ本体に力が加わらないよう天井から吊るす。
3. 室外側〔OA（外気）およびEA（排気）〕および室内側のSA（給気）のすべてのダクトに結露防止のため必ず断熱材を巻き付ける。

お願い

- ダクト接続をする前にダクトの中に切り粉、異物（紙・ビニールなど）が入っていないことを確認してください。
- ダクト接続工事の際に本体内のダンパー板には触れないでください。

ドレン配管工事

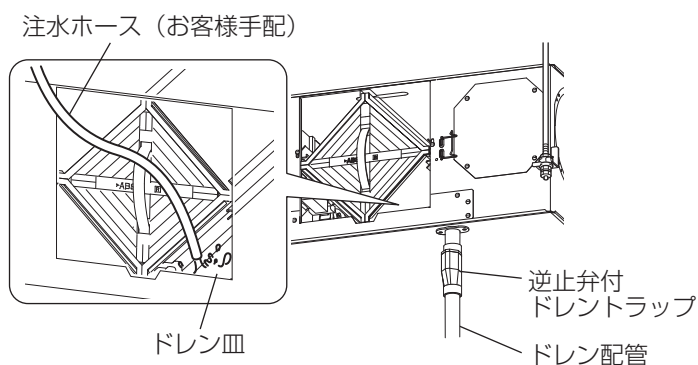
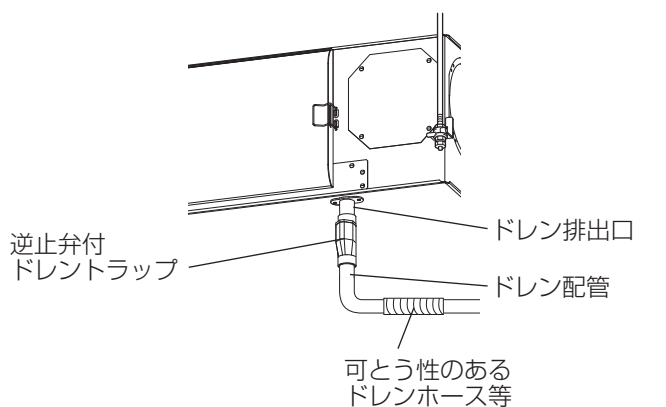
1. 製品側のドレン排出口にドレン配管および付属の逆止弁付ドレントラップを接続する。9ページ「注意点と作業手順」を参照ください。（排水性確保のため）
2. 配管の先端は必ず排水可能なところまで導く。
3. 排水配管に結露防止のため必ず断熱材を巻き付ける。

お願い

- 逆止弁付ドレントラップは、製品のドレン排出口から排水配管の出口までの間で、容易にメンテナンスができる場所に取り付けてください。ただし、他の機器のドレン配管との集合配管がある場合は、製品のドレン排出口から集合配管の間で容易にメンテナンスができる場所に取り付けてください。
- メンテナンス時（取扱説明書 10 ページ参照）等に逆止弁付ドレントラップの接続部に荷重がかからないようにしてください。可とう性のあるドレンホース等（お客様手配）の取付けをおすすめします。

4. 排水が排出されることを確認する。

- (1) メンテナンスカバーをはずす。（別冊の取扱説明書参照）
- (2) ドレン皿に約 1000cc 注水する。
- (3) ドレン配管の最終出口部まで漏水なく水が排出されることを確認する。
- (4) メンテナンスカバーを元通り閉める。



⚠ 注意

ドレン配管の先端を雨どい等に入れない

大雪時、雨どいが凍結して排水されず、本体から水漏れする原因になります

ドレン配管の途中にドレンポンプ(ドレンアップメカ)を接続して排水を処理しない

ドレンポンプの故障により水漏れし、天井・床その他、大切なものを濡らす原因になります

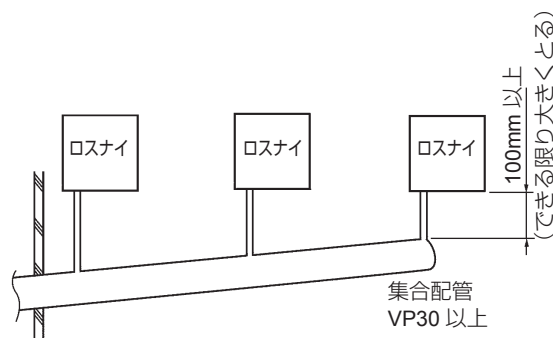
配管の接続部および逆止弁付ドレントラップにドレン配管の自重などの荷重がかからないように取付ける
配管のはずれや逆止弁付ドレントラップの分解により水漏れする原因になります

注意点と作業手順

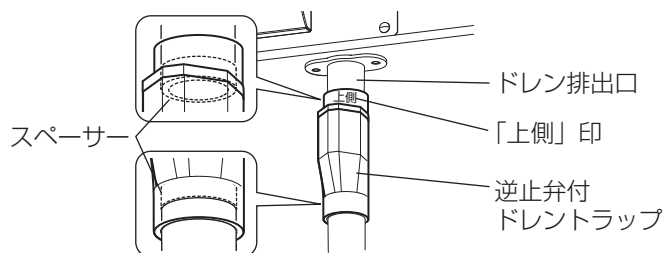
ドレン配管の施工時は以降に示す事柄を必ず守ってください。

- 必ず付属の逆止弁付ドレントラップを使用してください。
- ドレン配管は下りこう配（1/100以上）となるようにしてください。
- ドレン配管は、イオウ系ガスが発生する下水溝には、直接入れないでください。
- 接続部から水漏れのないように確実に施工してください。
- 水たれが起こらないように、断熱工事を確実に行ってください。
- ドレン配管は、必ず市販の断熱材（発泡ポリエチレン比重0.03、厚さ10mm以上）を巻いてください。
 - ① 最上階または高温多湿の条件下で使用する場合は、上記の厚さ以上にする必要があります。
 - ② 客先指定の仕様がある場合は、それに従ってください。
- 施工後、排水が排出されていることをドレン配管最終出口部で確認してください。
- ドレン配管は室外側（排水側）が下りこう配（1/100以上）となるようにし、途中にトラップや山越えを作らないようにしてください。
- 排水が逆流するおそれがありますので、ドレン配管の途中で内径を縮小しないでください。
- ドレン配管の横引きは20m（高低差は含みません）以下にし、横引きでの合流は設けないでください。
- ドレン配管には途中に支持金具を設けてドレン配管の波打ちをなくしてください。また、配管のはずれや逆止弁付ドレントラップの分解による漏れを防ぐため、配管の接続部および逆止弁付ドレントラップに配管の自重等の荷重がかからないようにしてください。
- 通気管（エア抜き管）は絶対につけないでください。ドレンが吹出場合があります。
- ドレン配管は硬質塩ビパイプ一般管VP25（外径φ32）を使用してください。
- ドレン配管に無理な引張・圧縮荷重がかからないようにしてください。
- ドレン配管は結露防止のため必ず断熱処理をしてください。
- ドレン配管や逆止弁付ドレントラップの接合部は日本水道協会規格品の硬質塩化ビニール管用接着剤を使用し、接合および止水してください。

- 集合配管の場合、図のように本体ドレン排出口より100mm以上低い位置に集合配管がくるようにしてください。



- ドレン配管の出口は臭気が発生するおそれのない場所に施工してください。
- 設置場所が0℃以下にならないように注意してください。ドレン配管が凍結し、機外に水が漏れるおそれがあります。凍結のおそれのある地域ではドレン配管に凍結防止（凍結防止用ヒーターなど市販品の施工）をご検討ください。
- 逆止弁付ドレントラップは樹脂製です。強い衝撃や温度が高くなる場所（40℃以上）では、使用しないでください。
- 逆止弁付ドレントラップにほこりや屑が入った場合は、メンテナンス（取扱説明書10ページ参照）を行ってください。また、メンテナンスができるところに取付けてください。
- 逆止弁付ドレントラップはラベル表示の「上側」を確認して、垂直になるように取付けてください。斜めや横向きでは使用できません。
- 逆止弁付ドレントラップとドレン排出口、配管はスペーサーに当るまで挿入し、接着剤でしっかり固定してください。
- 接着剤の塗り過ぎで逆止弁付ドレントラップの中に接着剤が入らないように注意してください。内部のボールに接着剤が付着すると水漏れの原因となります。



注意

- ドレン配管は、確実に排水するよう配管し、結露が生じないように断熱してください。配管工事に不備があると水漏れし、器財等を濡らす原因になります。
- ドレン配管や、逆止弁付ドレントラップの接続時に使用する接着剤は、必ず日本水道協会規格品の硬質塩化ビニール管用接着剤を使用してください。それ以外を使用すると、水漏れし、器財を濡らす原因になります。
- 集合配管につながる他製品の運転の影響により配管内部の圧力が上昇し、排水しにくくなる場合があります。配管内の圧力が上がらないようご注意ください。

据付方法 つづき

電気工事

この製品はシステム構成により電気工事の方法が異なります。
それぞれ必要な部分の電気工事を行ってください。



警告

定格電圧、制御容量範囲内で使用する
間違った電源を使用すると、火災や感電の原因になります。

電気工事は、電気工事士の資格のあるかたが「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および、
据付工事説明書に従って取付けし、必ず専用回路とし、かつ定格の電圧・ブレーカーを使用する
電源回路容量不足や取付不備があると感電、火災の原因になります。

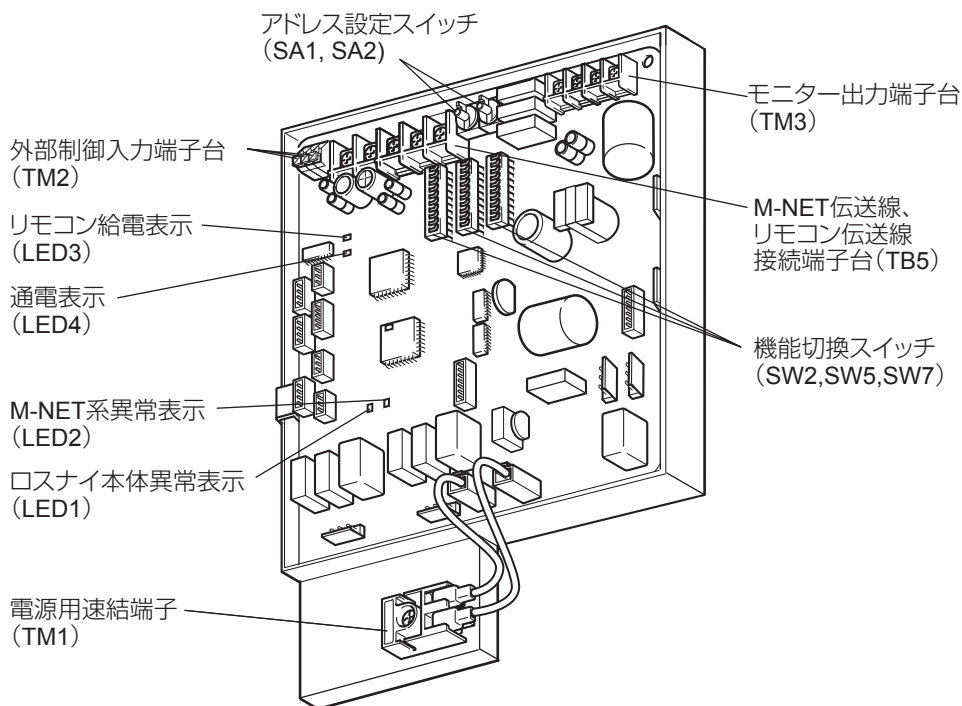
端子台接続部は指定の電線を使用して、抜けないよう確実に接続する
接続に不備があると火災の原因になります。

お願い

1. 電源には、必ず漏電ブレーカーを取付けてください。
2. 配線の接続はネジの緩みのないように確実に行ってください。
3. リモコン用・伝送線用端子台には 100V、200V 電源を接続しないでください。(故障します)
4. 伝送線と他の伝送線および電源線とは 5 cm以上離して配線してください。
5. 電源線・伝送線等はメンテナンスの妨げにならないように配線工事をしてください。
6. M-NET 伝送線は製品の外部から電源を供給します。M-NET 伝送線の接続時は伝送線用給電ユニット等の外部電源を遮断してから接続してください。(通電状態で接続すると感電や故障の原因となります)

コントロールボックス内の名称

※一部結線を省略しています。

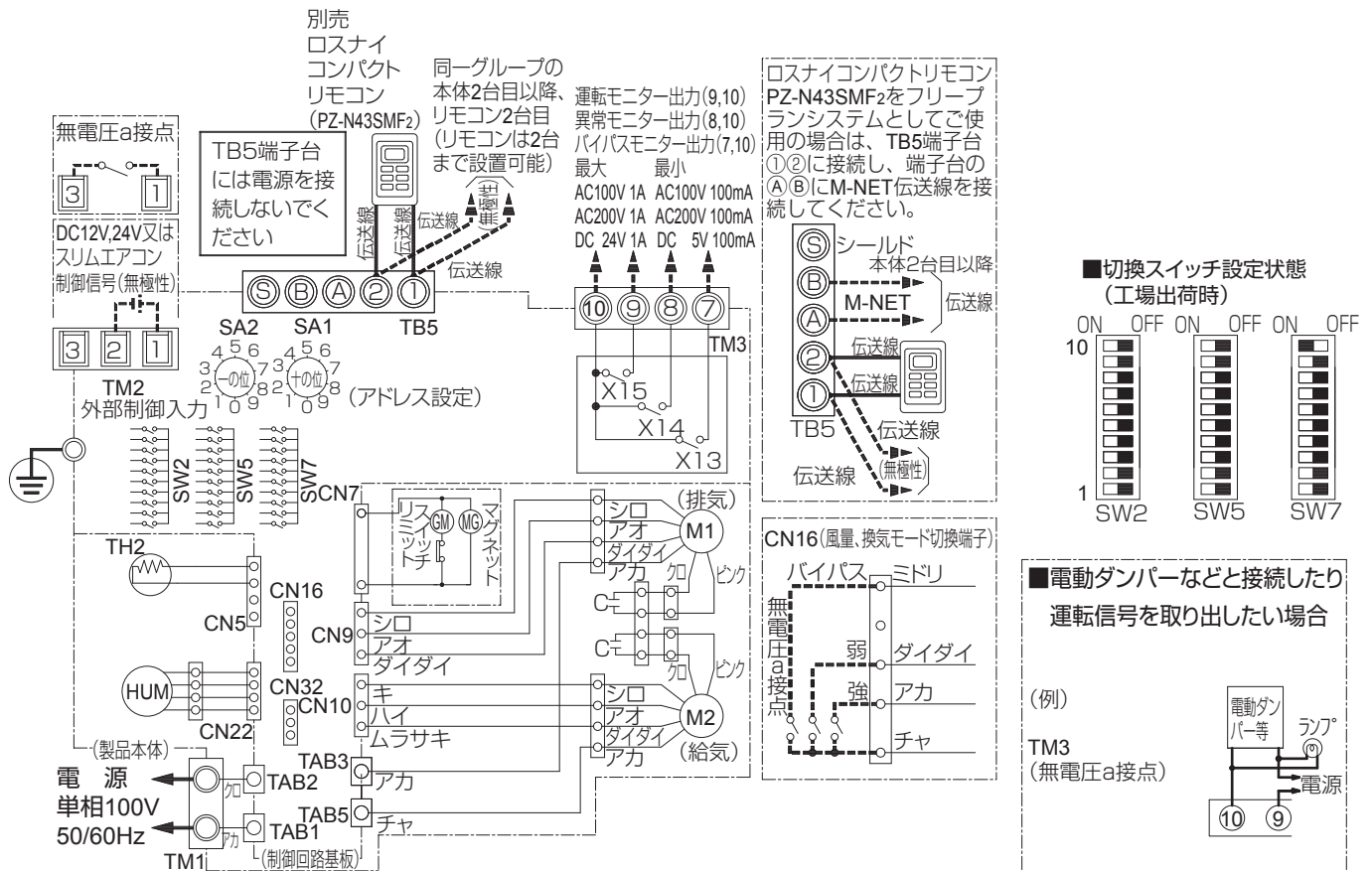


結線図

※太線および破線部分は有資格者である電気工事士にて施工してください。

・詳細は本体の結線銘板をご確認ください。

漏電保護用に電源側に漏電ブレーカーを設けてください



記号説明

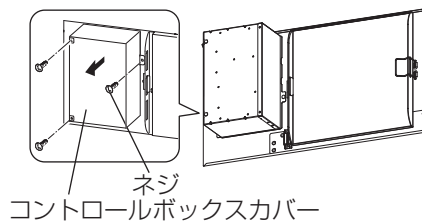
記号	名称	記号	名称
M1	送風機用電動機 (排気)	TB5	端子台 (M-NET伝送線接続: 無極性2線) * (リモコン伝送線接続: 無極性2線)
M2	送風機用電動機 (給気)	TM1	端子台 (AC電源入力)
C	コンデンサ	TM2	端子台 (外部制御入力)
GM	バイパスダンパー用電動機	TM3	端子台 (運転・バイパス・異常モニター出力)
HUM	温湿度センサー (外気温湿度検知)	CN16	コネクタ (風量・換気モード切換入力)
TH2	サーミスタ (還気温度検知)	CN32	コネクタ (遠方入力)
SW2	機能切換用スイッチ	X13	リレー接点 (バイパスモニター出力用)
SW5	機能切換用スイッチ	X14	リレー接点 (異常モニター出力用)
SW7	機能切換用スイッチ	X15	リレー接点 (運転モニター出力用)
SA1	アドレス設定用スイッチ (10の位) *		
SA2	アドレス設定用スイッチ (1の位) *		

*はフリーラン制御の場合に使用します。

据付方法 つづき

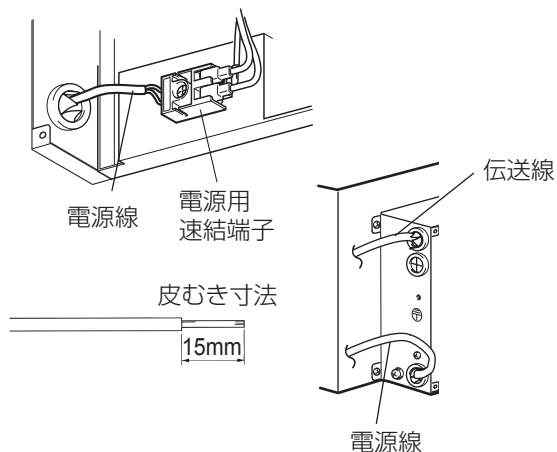
電源線接続のしかた

1



ネジ3本をはずして、コントロールボックスカバーをはずす。

2



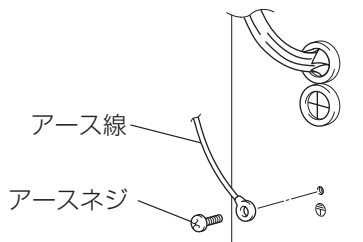
電源線（単線φ1.6 例VVF）を電源用速結端子に表示されている皮むきゲージに合わせ皮むきし、電源用速結端子に確実に差し込む。

●電源線はコードクリップで固定する。

お願い

- 電線の皮むき寸法は15mmとしてください。皮むき寸法が長すぎますと芯線同士が接触して短絡するおそれがあります。
- 電源線と伝送線は、誤動作防止のため5cm以上離して配線してください。
- 電源線を伝送線端子台に接続しないように注意してください。
- 必ず電源側に漏電ブレーカーを設置してください。

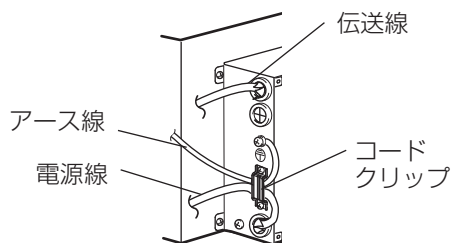
3



アース工事

- 1.コントロールボックスカバーに締め付けてあるアースネジをはずして、アース線を取付ける。
- 2.結線が終わったら、元通りコントロールボックスカバーを取付ける。

4



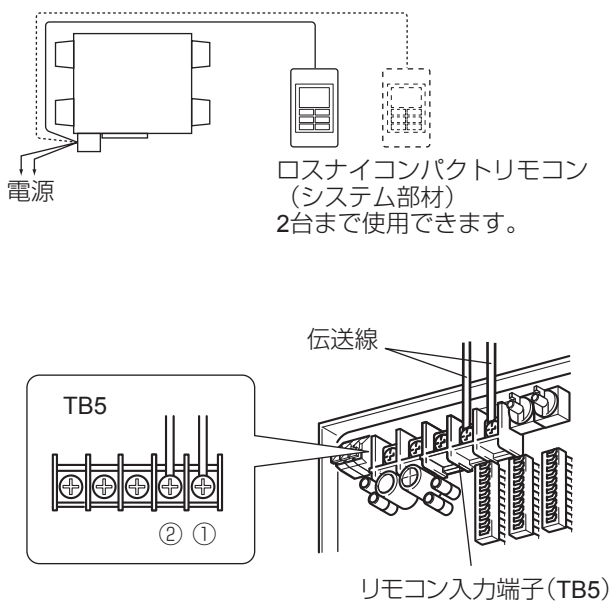
各配線を固定する

- 電源線とアース線をコードクリップで固定する。

システム構成 ……必要なところを接続してください。

- 1 ロスナイコンパクトリモコン (PZ-N43SMF2) と接続する場合
- 2 「空調機などの外部機器」と連動する場合
- 3 ビル管理システム等パルス出力機器と連動する場合
- 4 ロスナイを複数台運転する場合
- 5 複数の外部機器と連動する場合
- 6 運転信号・異常信号・普通換気 (バイパス換気) 信号を取り出す場合
- 7 電動ダンパー等と接続する場合
- 8 外部で風量の強/弱切換をする場合 (市販のCO₂センサー等と接続する場合)
- 9 外部で普通換気 (バイパス換気) にする場合
- 10 遠方/手元切換・発停入力 (レベル信号) を使用する場合
- 11 当社製マルチエアコンまたは、三菱ビル空調管理システム (MELANS) と接続する場合

1 ロスナイコンパクトリモコン (PZ-N43SMF2) と接続する場合



※当社製マルチエアコンまたは三菱ビル空調管理システム (MELANS) と接続する場合は **11** の結線方法に従ってください。

ロスナイコンパクトリモコンからの伝送線をリモコン伝送線接続端子 (TB5) の①②に確実に接続する。(無極性)

線種：2芯シース付ケーブル

線径：0.3mm²

以下の別売ケーブルも使用できます。

PAC-YT81HC (10m), PAC-YT82HC (20m)

- リモコンが2台ある場合も同様に接続してください。
- ロスナイとリモコン間の伝送線総延長は200m以下としてください。

お願い

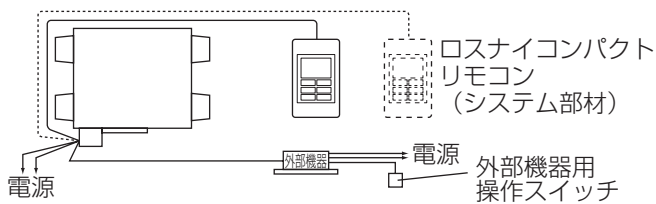
- 端子台のネジは0.5N・mより大きなトルクで締めないでください。基板が破損するおそれがあります。
- 電源線およびM-NET伝送線を接続しないように注意してください。

メモ

- 1つの入力端子に接続できる伝送線は4本までです。
- PVC線等の単線は接続できません。
- 本機種ではジーニアスリモコンは使用できません。

据付方法 つづき

2 「空調機などの外部機器」と連動する場合



(1) 外部機器の出力信号線を外部制御入力端子 (TM2) に接続します。

外部機器の出力信号のタイプにより接続方法が異なります。

(2) パルス入力スイッチ (SW2-2) が「OFF」になっているか確認します。(出荷状態は「OFF」に設定されています)

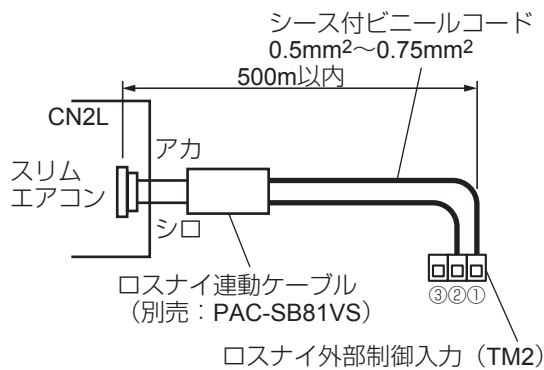
お願い

- 線の抜き差し時、端子を 0.5N・m より大きな力で押さえないでください。

メモ

- 本機種ではジーニアスリモコンは使用できません。

当社製スリムエアコン+ MA リモコンのとき



ロスナイ連動ケーブルのコンネクター側を室内ユニット基板上の CN2L に接続し、リード線側をロスナイ外部制御入力端子 (TM2) の①②に接続する。(無極性)

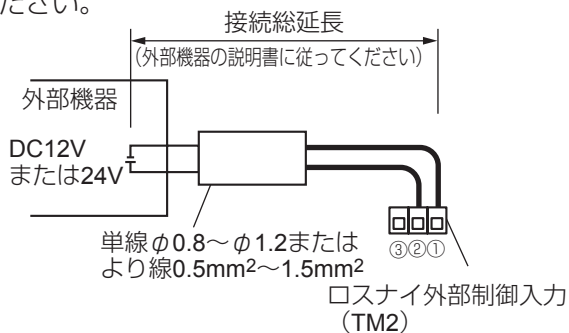
- ロスナイ連動ケーブルと電源線は、誤動作防止のため、5cm 以上離して配線してください。

メモ

- このシステムではロスナイコンパクトリモコンは使用できません。
- ロスナイの運転/停止および風量の切り替えはスリムエアコンの MA リモコンにて行ってください。
- 換気モードは「自動換気切換モード」になります。

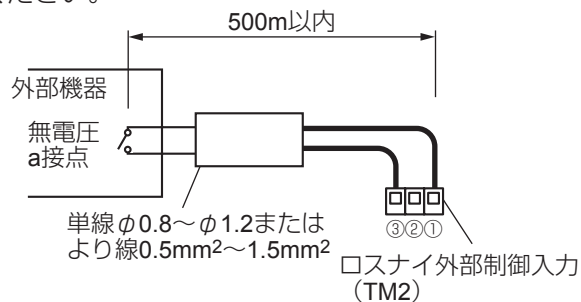
外部機器の運転信号が有電圧 DC12V または 24V とき

- お客様手配の伝送線を介して外部機器からの運転信号を外部制御入力端子 (TM2) の①②に接続する。(無極性) DC12V または DC24V 入力時運転します。運転信号の ON 時間および OFF 時間は 10 秒以上にしてください。



外部機器の運転信号が無電圧 a 接点のとき

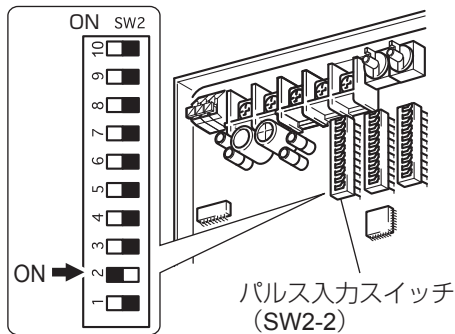
- お客様手配の伝送線を介して外部機器からの運転信号を外部制御入力端子 (TM2) の①③に接続する。接点 ON (閉) 時運転します。運転信号の ON 時間および OFF 時間は 10 秒以上にしてください。



お願い

- 無電圧 a 接点にフォトカプラ等の有極性接点を使用する場合は⊕側を③に⊖側を①に接続してください。

3 ビル管理システム等パルス出力機器と連動する場合



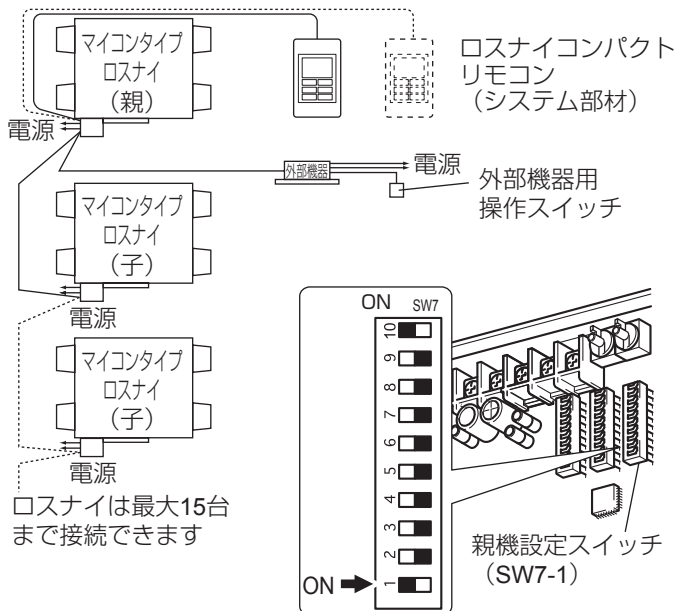
- (1) パルス入力スイッチ (SW2-2) を「ON」にします。(機能設定 1「パルス入力の設定」参照)
- (2) ビル管理システム等のパルス信号出力を外部制御入力端子 (TM2) に接続します。

パルス信号のタイプにより接続方法が異なります。

2「外部機器の運転信号が有電圧のとき」または、「外部機器の運転信号が無電圧 a 接点のとき」を参照してください。

- パルス幅は 200msec 以上必要です。
- OFF 時間は 10 秒以上としてください。

4 ロスナイを複数台運転する場合



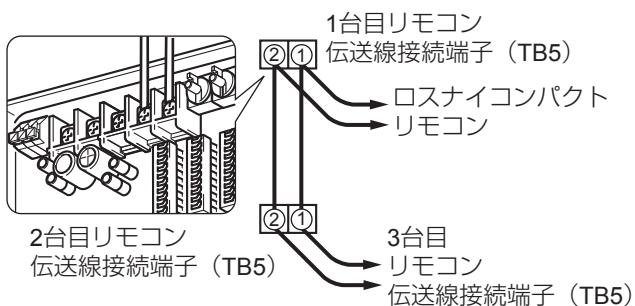
- (1) ロスナイ 1 台目から 2 台目へ 2 台目から 3 台目へ… 最大 15 台までをリモコン伝送線接続端子で接続する。
線種：2 芯シース付ケーブル
線径：0.3mm²
- (2) 外部機器と連動する場合、運転信号を入力するロスナイの親機設定スイッチ (SW7-1) を「ON」に切換えます。

お願い

- 端子台のネジは 0.5N・m より大きなトルクで締めないでください。基板が破損するおそれがあります。

メモ

- 1 つのリモコン伝送線接続端子に接続できる伝送線は、4 本までです。
- PVC 線等の単線は接続できません。
- 親機設定のロスナイは 1 台のみとしてください。親機設定のロスナイのみ外部機器の運転信号の接続ができます。
- 外部機器の運転信号を入力しない場合は、ロスナイ複数台運転であっても親機設定は必要ありません。
- 各ロスナイはそれぞれに電源を接続してください。
- 各製品間およびロスナイコンパクトリモコンと製品間の伝送線の総延長は 200m 以下としてください。



据付方法 つづき

5 複数の外部機器と連動する場合

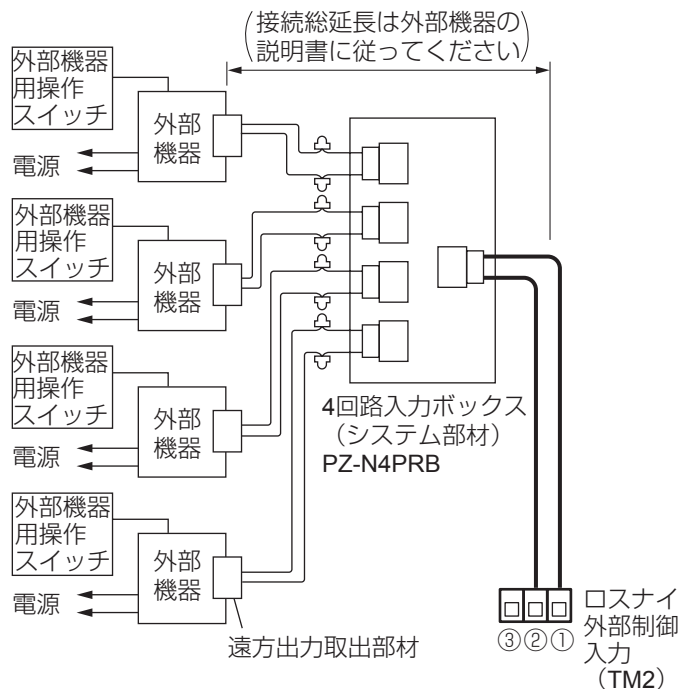
当社製スリムエアコンとロスナイ連動ケーブルで接続する場合は複数台運転できませんので、遠方出力取出部材を介して無電圧 a 接点信号を利用してください。

お願い

- 線の抜差時、端子台を 0.5N より大きな力で押さえないでください。
- 無電圧 a 接点にフォトカプラ等の有極性接点を使用する場合は ⊕ 側を ③ に ⊖ 側を ① に接続してください。
- 運転信号の ON 時間、OFF 時間は 10 秒以上としてください。

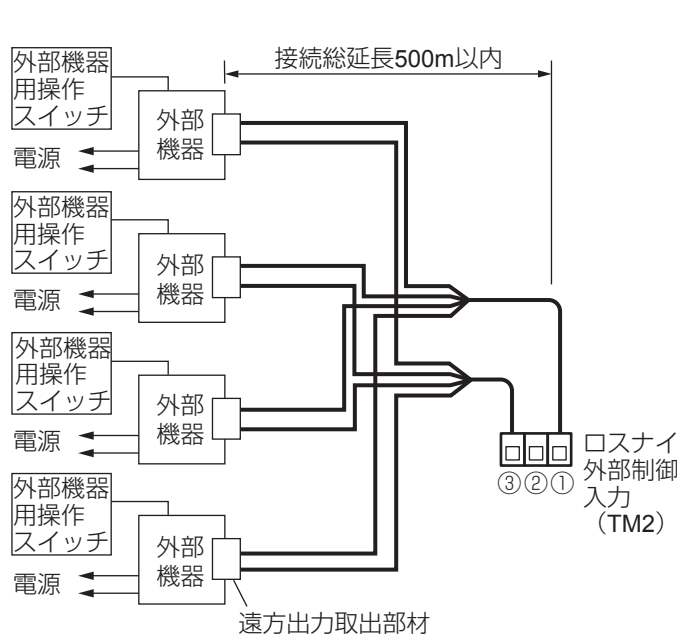
外部機器の運転信号が有電圧 DC12V のとき

- システム部材の 4 回路入力ボックス (PZ-N4PRB) を使用して、外部制御入力端子 (TM2) の ①② に接続する。(無極性)

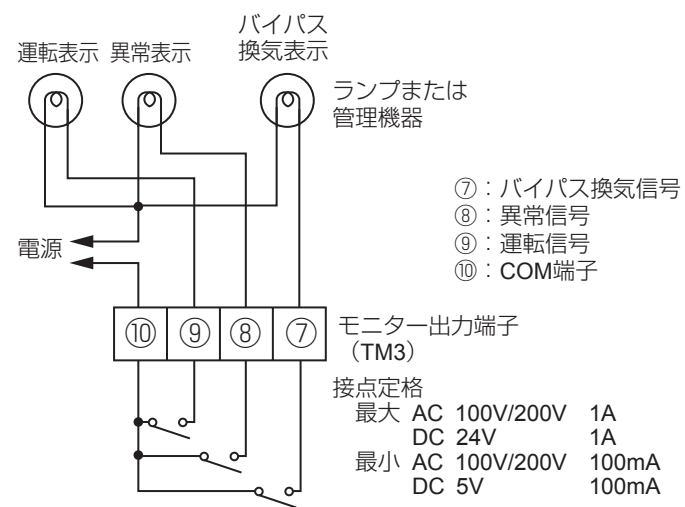


外部機器の運転信号が無電圧 a 接点のとき

- 無電圧 a 接点で遠方出力取出部材を介して外部制御入力端子 (TM2) の ①③ に接続する。



6 運転信号・異常信号・普通換気 (バイパス換気) 信号を取り出す場合



結線図を参照してモニター出力端子 (TM3) の ⑦⑩ または ⑧⑩ または ⑨⑩ に接続する。

適用線種 (推奨):
単線 ϕ 0.8 ~ ϕ 1.2 またはより線 0.5mm² ~ 1.5mm²

お願い

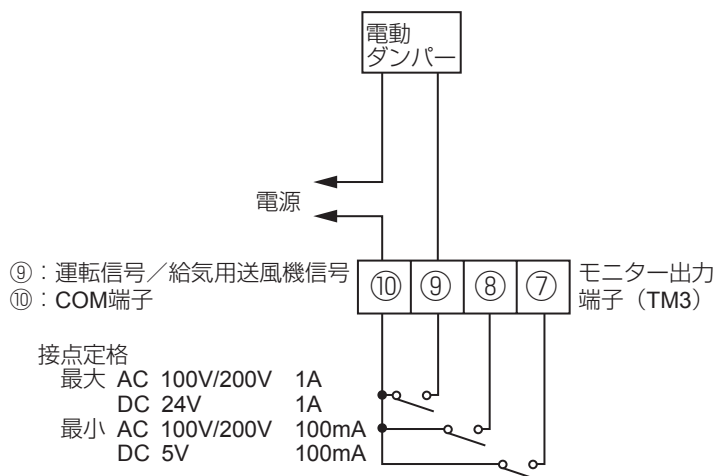
- 端子台のネジは 0.5N・m より大きなトルクで締めないでください。基板が破損するおそれがあります。
- 手元リモコン、システムコントローラを使用しない場合、モニター出力端子 (TM3) の ⑧⑩ を使って異常信号を取り出せるようにしてください。

メモ

- 運転モニター出力として使用する場合、外部入力信号に対する応答時間は、下表のようになります。

外部信号形態	応答時間
レベル信号	最大 7 sec
パルス信号	最大 200 msec

7 電動ダンパー等と接続する場合



結線図を参照して電動ダンパー等からの電源線をモニター出力端子 (TM3) の⑨⑩に接続し、出力を設定してください

適用線種 (推奨) :

単線φ 0.8 ~ φ 1.2 またはより線 0.5mm² ~ 1.5mm²

お願い

- 端子台のネジは 0.5N・m より大きなトルクで締めないでください。基板が破損するおそれがあります。
- 給気用送風機と連動させる場合は、運転モニター出力設定 (SW5-2) を「ON」に設定してください。

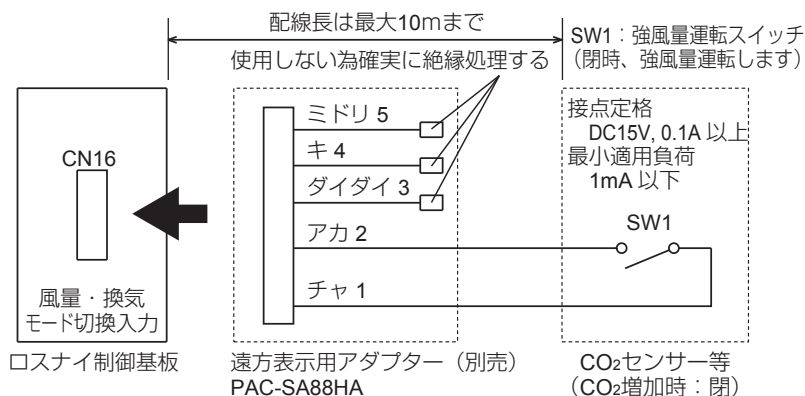
8 外部で風量の強／弱切換をする場合 (市販の CO₂ センサー等と接続する場合)

市販の CO₂ センサー等を使用して風量の切換をする場合は下図のように、コネクター (風量・換気モード切換入力) CN16 へ別売の遠方表示用アダプター (PAC-SA88HA) を差し込んで結線する。

※マルチ換気モードを使用する場合は、マルチ換気モードの設定が優先されます。

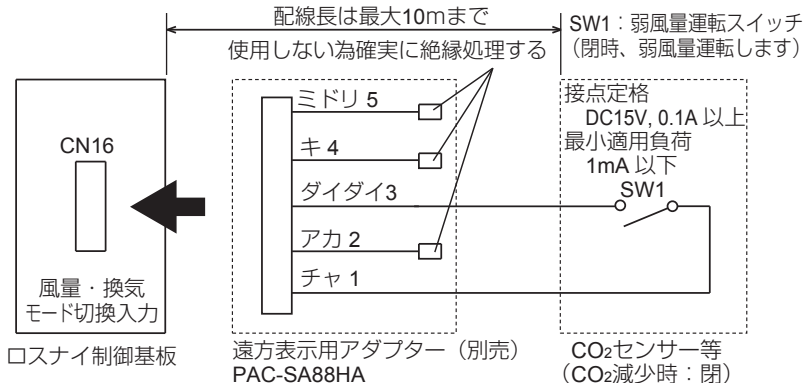
※1つのセンサー等でロスナイを複数台制御することはできません。1台毎にセンサーを接続してください。

■外部で風量を強制強運転させる場合



SW1 ON 時はリモコンの設定に関係なくロスナイの風量は強 (特強) となります。常時弱運転で換気を行い、外部のセンサーで室内空気の汚れを検知したときに強 (特強) 運転になるような使い方をします。

■外部で風量を強制弱運転させる場合



SW1 ON 時はリモコンの設定に関係なくロスナイの風量は弱となります。常時強運転で換気を行い、外部のセンサーで室内空気の汚れが少ないときに弱運転となるような使い方をします。

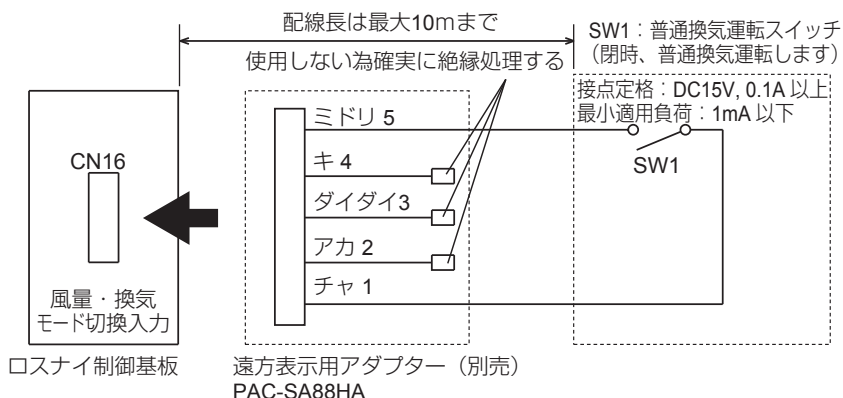
メモ

- 本機種では当社の CO₂ センサー部材 (PGL-100TGS) は使用できません。

据付方法 つづき

9 外部で普通換気（バイパス換気）にする場合

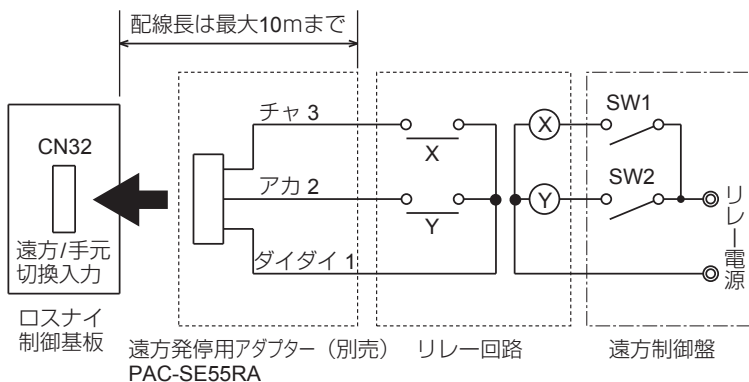
コネクタ（風量・換気モード切換入力）CN16 へ別売の遠方表示用アダプター（PAC-SA88HA）を差し込んで結線する。



SW1 が ON 時はリモコンの設定に関係なくロスナイの換気モードは普通換気となります。
※外気温度が 8℃以下のときは熱交換換気となります。

10 遠方 / 手元切換・発停入力（レベル信号）を使用する場合

ロスナイ制御基板上の CN32 へ別売の遠方発停用アダプター（PAC-SE55RA）を差し込む。

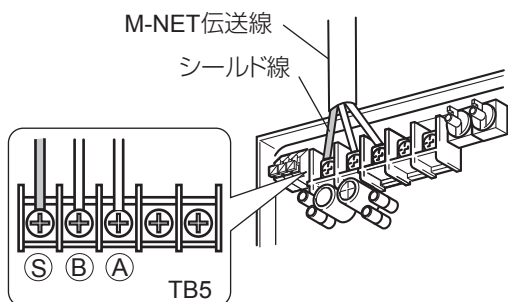


- SW1：ON 時はロスナイコンパクトリモコン（PZ-N43SMF2）、システムコントローラ等での運転 / 停止ができません。
 - SW2：SW1 ON 時、SW2 の ON でロスナイ運転、SW2 の OFF でロスナイ停止ができます。
- SW1：遠方 / 手元切換スイッチ
SW2：発停スイッチ
X, Y：リレー（接点定格 DC15V, 0.1A 以上、最小適用負荷 1mA 以下）

メモ

- システムコントローラで手元操作禁止を設定した場合、遠方入力での運転 / 停止ができません。

11 当社製マルチエアコンまたは、三菱ビル空調管理システム (MELANS) と接続する場合



アドレス設定が必要です。(機能設定参照)

M-NET 伝送線……

三菱ビル空調管理システム (MELANS) の M-NET 伝送線をロスナイの端子台 (TB5) ①② につなぎます。

種類 (シールド線 CVVS・CPEVS・MVVS)

線径 1.25mm² または φ 1.2mm 以上

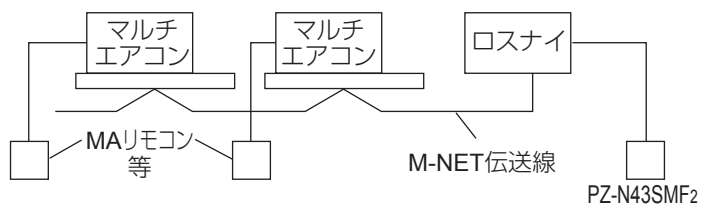
ロスナイコンパクトリモコン (PZ-N43SMF₂) :

端子台 (TB5) の①②に接続する。(❶「ロスナイコンパクトリモコン (PZ-N43SMF₂) と接続する場合」参照)

お願い

- 端子台のネジは 0.5N・m より大きなトルクで締めないでください。基板が破損するおそれがあります。
- M-NET 伝送線には必ずシールド線を使用し、シールド処理を行ってください。
- 電源線およびロスナイコンパクトリモコン伝送線を接続しないように注意してください。
- 空調冷熱総合管理システム AE-200J で操作する場合、におい戻りが発生する可能性があるため、微弱風量を選択したり、24 時間換気設定を有効にしないでください。

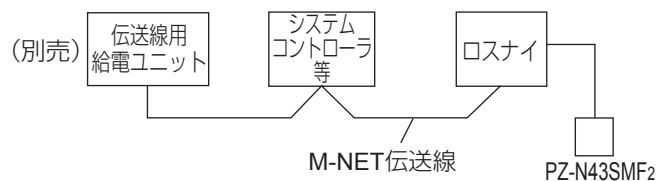
当社製マルチエアコンと連動する場合



※ M-NET 伝送線の総配線長は 500m までとしてください。なお、ロスナイと伝送線用給電ユニット (別売) または室外機との配線長は 200m までとしてください。

MELANS と接続する場合

- 伝送線用給電ユニットを接続する。

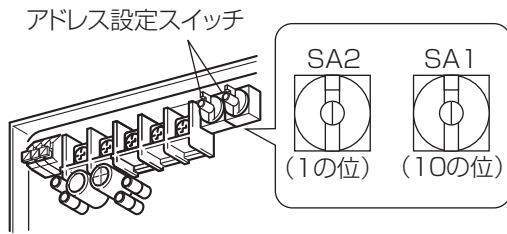


機能設定

当社製マルチエアコン、MELANS と接続する場合はアドレス設定が必要です。

アドレス設定のしかた

必ず元電源を切った状態で行ってください。



ロスナイ専用のアドレス設定をする場合は下記により行ってください。

(ユニットアドレスの決めかたについては現地のシステム)により異なりますので技術資料等を参照してください。

1. ネジ3本をはずしてコントロールカバーをはずす。
2. 基板上的アドレス設定スイッチを、マイナスドライバー等で回す。

- (SA1) は 10 の位、(SA2) は 1 の位を示します。
- 工場出荷時は「00」です。

※アドレス番号を変更しますと、メモリ内のデータの一部分が自動的にリセットされます。

機能切換スイッチ (SW2, 5, 7) の切換え

基板上的機能切換スイッチ (SW2, 5, 7) にて必要な機能設定を行います。

お願い

- 工事終了後、機能設定によりロスナイの機能を変更した場合は、必ず設定内容を各表のチェック欄に○印などで記入して確認してください。

本体回路基板を交換したときは交換前と同じ設定にしてください。

(SW2)	(SW5)	(SW7)
10 <input type="checkbox"/> 排気 特強 / 強	10 <input type="checkbox"/> 使用しません (OFF のこと)	10 <input type="checkbox"/> 使用しません (ON のこと)
9 <input type="checkbox"/> 給気 特強 / 強	9 <input type="checkbox"/> -10℃以下排気送風機停止設定	9 <input type="checkbox"/> 使用しません (OFF のこと)
8 <input type="checkbox"/> 使用しません (OFF のこと)	8 <input type="checkbox"/> } 連動モード設定	8 <input type="checkbox"/> 使用しません (OFF のこと)
7 <input type="checkbox"/> 普通換気 (バイパス換気) 優先自動換気	7 <input type="checkbox"/> }	7 <input type="checkbox"/> 使用しません (OFF のこと)
6 <input type="checkbox"/> 電源発停機能	6 <input type="checkbox"/> 使用しません (OFF のこと)	6 <input type="checkbox"/> 使用しません (OFF のこと)
5 <input type="checkbox"/> マルチ換気モード (排気側)	5 <input type="checkbox"/> エアフィルターのメンテナンス表示設定	5 <input type="checkbox"/> 使用しません (OFF のこと)
4 <input type="checkbox"/> マルチ換気モード (給気側)	4 <input type="checkbox"/> 停電自動復帰	4 <input type="checkbox"/> 使用しません (OFF のこと)
3 <input type="checkbox"/> 運転開始時パワー給排気の切換え設定	3 <input type="checkbox"/> 排気送風機動作設定	3 <input type="checkbox"/> 使用しません (OFF のこと)
2 <input type="checkbox"/> パルス入力の設定	2 <input type="checkbox"/> モニター出力設定 (運転 / 給気)	2 <input type="checkbox"/> 自動換気切換モード時絶対湿度制御
1 <input type="checkbox"/> 送風機・ダンパー試運転	1 <input type="checkbox"/> 遅延の設定	1 <input type="checkbox"/> 親機設定

- 1 パルス入力の設定
- 2 運転開始時パワー給排気の切換え設定
- 3 マルチ換気モードの切換え設定
- 4 電源発停機能および停電自動復帰機能の設定
- 5 特強 / 強切換設定
- 6 遅延の設定 (空調機冷暖房起動時の遅延動作)
- 7 モニター出力設定
- 8 排気送風機動作設定
- 9 エアフィルターのメンテナンス表示の設定
- 10 連動モードの設定
- 11 親機設定
- 12 自動換気切換モード時絶対湿度制御
- 13 普通換気 (バイパス換気) 優先自動換気

1 パルス入力の設定

ビル管理システム等からのパルス信号機器を外部入力に接続して利用する場合に設定します。

本体回路			モード
	OFF ON	チェック	
SW2	2	<input type="checkbox"/>	パルス入力なし（工場出荷時）
	2	<input checked="" type="checkbox"/>	パルス入力あり

2 運転開始時パワー給排気の切換え設定

運転開始時、30分間は強（特強）固定で運転させる場合に設定します。30分後はリモコンからの風量操作に切替わります。夜間停止時に室内の空気が汚れ、運転開始後急速換気したい場合に使用します。

本体回路			動作
	OFF ON	チェック	
SW2	3	<input type="checkbox"/>	通常（工場出荷時）
	3	<input checked="" type="checkbox"/>	運転開始時、30分間強（特強）固定

※ マルチ換気モードを使用する場合は、マルチ換気モードの設定が優先されます。

3 マルチ換気モードの切換え設定

使用環境や設置場所に応じた給排気バランスを選択させる場合に設定します。設定できるモードは4種類です。

本体回路			モード	動作
	OFF ON	チェック		
SW2	5 4	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	パワー給排気 通常（工場出荷時）	風量操作により強（特強）・弱が切替わります。
	5 4	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	パワー給気※	排気側は風量を弱で運転します。 給気側は風量の強（特強）・弱が切替わります。
	5 4	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	パワー排気	給気側は風量を弱で運転します。 排気側は風量の強（特強）・弱が切替わります。
	5 4	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	省エネ換気	給排気は風量を弱で運転します。 風量の強/弱によらず省エネ換気固定。

※ パワー給気モードはにの強い空間でお使いいただく場合、対象空間が正圧となることにより、にのいが他へ拡散したり、有効換気量率が低下し、給気ににのいが戻る可能性があるためおすすめしません。

4 電源発停機能および停電自動復帰機能の設定

ロスナイに供給する元電源（100V）の入・切により運転・停止を行う場合に設定します。また、停電後、電源復旧したときの運転状態を設定します。

本体回路			モード	動作
	OFF ON	チェック		
SW2-6 SW5-4	2-6 5-4	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	電源発停無効停電自動復帰なし （工場出荷時）	電源投入時停止
	2-6 5-4	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	電源発停有効	電源入・切で運転・停止可能
	2-6 5-4	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>		
	2-6 5-4	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	停電自動復帰あり	電源投入時、停電前のモードで運転

※ 手元リモコンを設置しない場合、運転異常時に点検ナンバーが表示されません。モニター出力端子（TM3）の⑧⑩を使って異常信号を取り出せるようにしてください。

機能設定 つづき

5 特強 / 強切換設定

風量を多く必要とする場合や、ダクト配管が長い場合に切換えます。

本体回路			動作
OFF	ON	チェック	
SW2	9	<input type="checkbox"/>	給気送風機 強運転 (工場出荷時)
	9	<input checked="" type="checkbox"/>	給気送風機 特強運転
	10	<input type="checkbox"/>	排気送風機 強運転 (工場出荷時)
	10	<input checked="" type="checkbox"/>	排気送風機 特強運転

※ 排気風量より給気風量が多くなると、においの強い空間でご使用いただく場合、有効換気量率が低下し、においが給気に戻る可能性があります。ご注意ください。

6 遅延の設定 (空調機冷暖房起動時の遅延動作)

当社空調機との連動で空調機が運転開始したとき、または外部機器が運転開始したとき、設定した時間だけ遅れてロスナイが運転するモードです。

本体回路			動作
OFF	ON	チェック	
SW5	1	<input checked="" type="checkbox"/>	通常 (工場出荷時)
	1	<input type="checkbox"/>	遅延動作 30 分

7 モニター出力設定

本体回路			出力端子	動作
OFF	ON	チェック		
SW5	2	<input checked="" type="checkbox"/>	TM3 ⑨⑩	運転モニター出力設定 ロスナイ運転時モニター出力 ON (閉) (工場出荷時)
	2	<input type="checkbox"/>		給気用送風機モニター出力設定 給気用送風機の動作時にモニター出力 ON (閉)

8 排気送風機動作設定

以下の条件で給気用送風機が停止したときの排気用送風機の動作風量を設定します。

- ・ 当社空調機とダクト接続時に空調機が霜取中
- ・ 外気温度 - 10℃以下

本体回路			動作	
OFF	ON	チェック		
SW5	3	<input checked="" type="checkbox"/>	空調機霜取中	風量変化なし (工場出荷時)
			外気温度 - 10℃以下	
	3	<input type="checkbox"/>	空調機霜取中	停止
			外気温度 - 10℃以下	弱風量

9 エアフィルターのメンテナンス表示の設定

エアフィルターのメンテナンス表示を行わない場合に設定します。
工場出荷時はエアフィルターメンテナンス表示する（3000 時間）に設定されています。

本体回路			メンテナンス表示
	OFF ON	チェック	
SW5	5	<input type="checkbox"/>	エアフィルターメンテナンス表示する（3000 時間）（工場出荷時）
	5	<input checked="" type="checkbox"/>	エアフィルターメンテナンス表示しない

お願い

- ロスナイ運転時間により 3000 時間が経過しますと、空調機またはロスナイのリモコンにエアフィルターの清掃時期を表示します。清掃後リモコンの取扱説明書によってリセット操作を行い、積算時間をリセットしてください。

10 連動モードの設定

外部機器の運転・停止に対してロスナイをどのようにして動作させるか設定します。

本体回路			モード	動作（運転動作）
	OFF ON	チェック		
SW5	8	<input type="checkbox"/>	ON/OFF 連動 （工場出荷時）	外部機器の運転・停止によりロスナイが運転・停止する。 リモコンまたは MELANS による後押し操作可能。
	7	<input checked="" type="checkbox"/>		
	8	<input checked="" type="checkbox"/>	ON 連動	外部機器が運転すればロスナイも運転。 停止はリモコンまたは MELANS による。
	7	<input type="checkbox"/>		
8	<input type="checkbox"/>	OFF 連動	外部機器が停止すればロスナイも停止。 運転はリモコンまたは MELANS による。	
7	<input checked="" type="checkbox"/>			
8	<input checked="" type="checkbox"/>	外部入力優先	外部機器の運転・停止によりロスナイが運転・停止する。 外部機器の停止時のみリモコンまたは MELANS 操作有効。	
7	<input type="checkbox"/>			

11 親機設定

ロスナイ複数台を運転する場合、外部機器（空調機、CO₂ センサーなど）の信号を接続したロスナイを親機に設定します。

同一グループ内では親機設定は 1 台のみとしてください。

同一グループ内の製品どうしはリモコン伝送線接続端子（TB5）で接続してください。

（15 ページ「**4** ロスナイを複数台運転する場合」を参照）

本体回路			モード	動作
	OFF ON	チェック		
SW7	1	<input checked="" type="checkbox"/>	—	外部信号を入力しません（工場出荷時）
	1	<input type="checkbox"/>	親機	外部信号を入力します

※ 外部機器の信号を入力しない場合、ロスナイ複数台運転であっても親機設定は必要ありません。

12 自動換気切換モード時絶対湿度制御

ロスナイ本体内部に組み込まれた 2 つの温度センサーにより室内、外気温度を検知し、自動的に「ロスナイ換気」と「普通換気（バイパス換気）」に切換えますが、ロスナイ本体内部に組み込まれた外気湿度センサーにより外気湿度を検知し、極端に低湿度、極端に高湿度の空気を「普通換気（バイパス換気）」で換気しないで、「ロスナイ換気」で換気するモード（絶対湿度制御）です。

本体回路			動作
	OFF ON	チェック	
SW7	2	<input checked="" type="checkbox"/>	絶対湿度制御有効（工場出荷時） 高湿度側閾値：0.017kg/kg (DA) 低湿度側閾値：0.005kg/kg (DA)
	2	<input type="checkbox"/>	絶対湿度制御無効

機能設定 つづき

13 普通換気（バイパス換気）優先自動換気

ロスナイ本体内部に組み込まれた2つの温度センサーにより室内、外気温度を検知し、自動的に「ロスナイ換気」と「普通換気（バイパス換気）」に切替えますが、「普通換気（バイパス換気）」を優先に設定するモードです。

本体回路			動作	
	OFF	ON		チェック
SW2	7	<input type="checkbox"/>		通常（工場出荷時）
	7	<input checked="" type="checkbox"/>		普通換気優先モード

据付工事後の確認

本体の据付工事が終わりましたら、下表にしたがってもう一度点検してください。不具合がありましたら必ず直してください。

試運転前に下記事項をご確認いただき、必ずチェックボックス☑をチェック願います。

(1) 製品据付チェック

- 同梱されている付属部品を確認しましたか？ 【外形寸法図 P4 参照】
- 室外側ダクトは、1m以上の距離を確保していますか？ 【標準据付例 P5 参照】
- 室外側ダクトは壁側に向かって1/30以上の下りこう配を確保していますか？ 【標準据付例 P5 参照】
- 本体の据付角度は水平もしくはメンテナンスカバー側が下になるように1°以内ですか？ 【据付方法 P7 参照】
- 室外側2本およびSA（給気）すべてのダクトに断熱材を巻き付けてありますか？ 【据付方法 P8 参照】
- ドレン配管は正しく配管されていますか？ 【据付方法 P8, 9 参照】
- 逆止弁付ドレントラップの「上側」の表示は上側にありますか？ 【据付方法 P9 参照】
- ドレン配管の断熱工事は完全に行いましたか？ 【据付方法 P9 参照】
- 排水性の確認を行いましたか？ 【据付方法 P8 参照】

(2) 電気工事チェック

- 電源と本体形名、リモコンの組合せは正しいですか？ 【据付方法「システム構成」P13 参照】
- 電源に漏電ブレーカーは設置されていますか？ 【据付方法 P10 参照】
- 接続電線は結線図通り結線されていますか？ 【据付方法 P11 参照】
- 接続電線の端子台への接続は確実ですか？ 【据付方法 P12～19 参照】
- 接続電線の固定は確実ですか？ 【据付方法 P12～19 参照】
- 基板上的コネクタののずれはありませんか？ 【据付方法 P12～19 参照】
- アース工事はされていますか？ 【据付方法 P12 参照】

(3) 機能設定チェック

- 親機設定（SW7-1）の設定は正しいですか？ 【機能設定 P23 参照】
- アドレス設定スイッチ（SA1、SA2）の設定は正しいですか？ 【機能設定 P20 参照】
- 機能切換スイッチ（SW2、SW5、SW7）の設定は正しいですか？ 【機能設定 P20～23 参照】

※初期不具合を防止するため、必ず据付工事後の確認を実施いただき、お客様にお渡し願います。

試運転

システム全体の設置完了後、天井板を張る前に誤結線がないか確認し、各システムのリモコン（外部機器用操作スイッチ等）の取扱説明書を参照して試運転を行ってください。

1 ロスナイコンパクトリモコン（PZ-N43SMF2）での試運転

下記の要領で各ボタンを押して正常に運転されるかを確認してください。

操作項目	操作部	表示部	手順
1. 通電			ロスナイに電源を供給します （「HO」が最大45秒点滅）
2. 運転開始	 運転ランプ	換気 熱交換	運転/停止ボタンを押す（運転ランプ点灯）
3. 換気モードの設定		換気 自動 熱交換 普通	換気モードボタンを押す 「自動」切替→「熱交換」固定→「普通」固定と切り換わる換気の切替わりの際、一旦送風機が停止します
4. 風量の切替		 「弱」を示す	風量ボタンを押す 「強」または「弱」を選ぶ（「微弱」は選べません）
5. 運転停止	 運転ランプ		運転/停止ボタンを押す（運転ランプ消灯、通電表示のみ）

※設定する機能がないボタンを押した場合、「無効ボタン」を表示します。

※バックライトが消えているときは最初のボタン操作でバックライトを点灯します。

操作内容は受け付けません。（運転/停止ボタンは除く）

2 ロスナイ単独の試運転

本体回路		試運転動作
	OFF ON	
SW2	1	送風機用電動機（M1、M2）に通電され、強（特強）風量で運転する。 バイパスダンパー用電動機に約1分間通電されダンパー板が動作する。

1 運転開始

- ロスナイに電源を供給する。
- 試運転スイッチ（SW2-1）を「ON」にする。
〔試運転動作〕
 - 強（特強）普通換気で約1分間運転
 - 1分後、送風機が停止し、ダンパーがロスナイ換気に切り換わる
 - 強（特強）ロスナイ換気で運転再開（SW OFFまで）
- 送風機の運転状態およびダンパー動作を確認する。

2 運転停止

試運転スイッチ（SW2-1）を「OFF」にする。

3 システム全体の中でのロスナイ試運転

■空調機または外部機器と連動運転システムの場合

- 空調機のリモコンスイッチまたは外部機器用操作スイッチを利用して空調機とロスナイの連動を確認する。
- 遅延設定されている場合は（当社製マルチエアコン、スリムエアコンと連動時は冷暖起動時）遅延時間経過後にロスナイの運転を確認する。

■MELANS システムの場合

- 三菱ビル空調管理システム（MELANS）にてロスナイの運転を確認する。

試運転 つづき

4 試運転時異常があった場合

現象	処 置																					
ロスナイコンパクトリモコン (PZ-N43SMF2) の運転スイッチを押しても運転しない	<ul style="list-style-type: none"> 電源確認 (指定電源単相 100V、線径φ 1.6、開閉器容量) 結線の確認 (TB5 の①②にリモコンからの伝送線が接続されているか確認) 伝送線の短絡、断線の確認 (伝送端子間電圧が DC10 ~ 13V を確認) 伝送線と電源線および他の伝送線とが 5cm 以上離れているか確認 試運転スイッチ (SW2-1) にてロスナイ単独で運転を行いロスナイ運転を確認する <table border="1"> <tr> <td>ロスナイは運転する</td> <td>→</td> <td>伝送線を点検</td> </tr> <tr> <td>ロスナイは運転しない</td> <td>→</td> <td>電源の確認</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ロスナイコンパクトリモコン (PZ-N43SMF2) が 3 台以上取付けられていないか確認 (最大 2 台まで) ロスナイとリモコン間の伝送線総延長の確認: 最大 200m 	ロスナイは運転する	→	伝送線を点検	ロスナイは運転しない	→	電源の確認															
ロスナイは運転する	→	伝送線を点検																				
ロスナイは運転しない	→	電源の確認																				
M-NET 使用時、ロスナイコンパクトリモコン (PZ-N43SMF2) または MELANS の運転スイッチを押しても運転しない	<ul style="list-style-type: none"> 電源確認 (指定電源単相 100V、線径φ 1.6、開閉器容量) 結線の確認 (TB5 の①②にリモコンからの伝送線が接続されているか確認) (TB5 の A⑥ に M-NET 伝送線が接続されているか確認) 給電ユニットの有・無及び電源が入っているか確認 (ロスナイのみのシステムの場合、給電ユニットが必要です) M-NET 伝送線の短絡、断線の確認 (伝送端子間電圧が DC20 ~ 32V を確認) M-NET 伝送線と電源線および他の伝送線とが 5cm 以上離れているか確認 ロスナイ単独で運転を行いロスナイ運転を確認する <table border="1"> <tr> <td>ロスナイは運転する</td> <td>→</td> <td>伝送線を点検</td> </tr> <tr> <td>ロスナイは運転しない</td> <td>→</td> <td>電源の確認</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> M-NET の伝送線総延長、伝送線給電制約を確認 (技術資料等を参照してください) 	ロスナイは運転する	→	伝送線を点検	ロスナイは運転しない	→	電源の確認															
ロスナイは運転する	→	伝送線を点検																				
ロスナイは運転しない	→	電源の確認																				
空調機または、外部機器と連動しない	<ul style="list-style-type: none"> パルス入力スイッチ (SW2-2) が「OFF」になっているか確認 空調機または外部機器とロスナイ間の伝送線の総延長を確認 (技術資料等を参照してください) 外部制御入力端子 (TM2) の接続を確認 <table border="1"> <tr> <td>有電圧 DC12V または 24V 出力機器の場合</td> <td>外部制御入力端子</td> <td>①②に接続</td> </tr> <tr> <td>無電圧 a 接点出力機器の場合</td> <td>外部制御入力端子</td> <td>①③に接続</td> </tr> <tr> <td>当社製スリムエアコンの場合</td> <td>外部制御入力端子</td> <td>①②に接続</td> </tr> </table> 空調機リモコン、MELANS にて登録操作を行う (空調機リモコン、MELANS の取扱説明書による) 遅延設定されていないか確認 外部機器からの信号線を外部制御入力端子からはずして確認 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>運転信号</th> <th>停止信号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>有電圧 DC12V または 24V 出力機器</td> <td>DC12V または 24V</td> <td>DC0V</td> </tr> <tr> <td>無電圧 a 接点出力機器</td> <td>抵抗 0 Ω</td> <td>抵抗無限大 Ω</td> </tr> <tr> <td>当社製スリムエアコン</td> <td>DC2 ~ 6V (パルス信号)</td> <td>DC2 ~ 6V (パルス信号)</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ロスナイ複数台運転で外部制御入力端子に接続されているロスナイの親機設定スイッチ (SW7-1) が親機設定になっているか確認またはその他のロスナイは SW7-1 が OFF になっているか確認 	有電圧 DC12V または 24V 出力機器の場合	外部制御入力端子	①②に接続	無電圧 a 接点出力機器の場合	外部制御入力端子	①③に接続	当社製スリムエアコンの場合	外部制御入力端子	①②に接続		運転信号	停止信号	有電圧 DC12V または 24V 出力機器	DC12V または 24V	DC0V	無電圧 a 接点出力機器	抵抗 0 Ω	抵抗無限大 Ω	当社製スリムエアコン	DC2 ~ 6V (パルス信号)	DC2 ~ 6V (パルス信号)
有電圧 DC12V または 24V 出力機器の場合	外部制御入力端子	①②に接続																				
無電圧 a 接点出力機器の場合	外部制御入力端子	①③に接続																				
当社製スリムエアコンの場合	外部制御入力端子	①②に接続																				
	運転信号	停止信号																				
有電圧 DC12V または 24V 出力機器	DC12V または 24V	DC0V																				
無電圧 a 接点出力機器	抵抗 0 Ω	抵抗無限大 Ω																				
当社製スリムエアコン	DC2 ~ 6V (パルス信号)	DC2 ~ 6V (パルス信号)																				
ロスナイが停止しない	<ul style="list-style-type: none"> 試運転スイッチ (SW2-1) が「OFF」になっているか確認 																					
コントロールボックス内部のロスナイ本体異常表示ランプ (LED1 緑) が点滅している	<table border="1"> <tr> <td>1 回</td> <td>電源に 200V が印加されている</td> <td>製品の規定通りの電源電圧に切換えてください</td> </tr> <tr> <td>2 回</td> <td>ロスナイ側回路の故障</td> <td rowspan="3">電源を切ってお買い上げの販売店にお申しつけください</td> </tr> <tr> <td>4 回</td> <td>ロスナイ (OA 側) 温湿度センサー関係の故障</td> </tr> <tr> <td>5 回</td> <td>ロスナイ (RA 側) サーモ関係の故障</td> </tr> <tr> <td>9 回</td> <td>リモコン通信異常</td> <td rowspan="2">外部信号を入力する製品を親機に、それ以外を子機に設定してください</td> </tr> <tr> <td>10 回 または 11 回</td> <td>機能設定エラー 同一グループで親機設定 (SW7-1) が 2 台以上 ON になっている</td> </tr> <tr> <td>11 回</td> <td>リモコン給電異常 リモコン伝送線がショートしている</td> <td>リモコン伝送線を確認してください</td> </tr> <tr> <td>点灯</td> <td>遅延中</td> <td>ロスナイコンパクトリモコン (PZ-N43SMF2) がいない場合は、30 分経過後消灯 (運転) します</td> </tr> </table>	1 回	電源に 200V が印加されている	製品の規定通りの電源電圧に切換えてください	2 回	ロスナイ側回路の故障	電源を切ってお買い上げの販売店にお申しつけください	4 回	ロスナイ (OA 側) 温湿度センサー関係の故障	5 回	ロスナイ (RA 側) サーモ関係の故障	9 回	リモコン通信異常	外部信号を入力する製品を親機に、それ以外を子機に設定してください	10 回 または 11 回	機能設定エラー 同一グループで親機設定 (SW7-1) が 2 台以上 ON になっている	11 回	リモコン給電異常 リモコン伝送線がショートしている	リモコン伝送線を確認してください	点灯	遅延中	ロスナイコンパクトリモコン (PZ-N43SMF2) がいない場合は、30 分経過後消灯 (運転) します
1 回	電源に 200V が印加されている	製品の規定通りの電源電圧に切換えてください																				
2 回	ロスナイ側回路の故障	電源を切ってお買い上げの販売店にお申しつけください																				
4 回	ロスナイ (OA 側) 温湿度センサー関係の故障																					
5 回	ロスナイ (RA 側) サーモ関係の故障																					
9 回	リモコン通信異常	外部信号を入力する製品を親機に、それ以外を子機に設定してください																				
10 回 または 11 回	機能設定エラー 同一グループで親機設定 (SW7-1) が 2 台以上 ON になっている																					
11 回	リモコン給電異常 リモコン伝送線がショートしている	リモコン伝送線を確認してください																				
点灯	遅延中	ロスナイコンパクトリモコン (PZ-N43SMF2) がいない場合は、30 分経過後消灯 (運転) します																				
コントロールボックス内部の M-NET 系異常表示ランプ (LED2 赤) が点滅している	<table border="1"> <tr> <td>1 回 ~ 8 回</td> <td>M-NET 通信上の異常</td> <td>電源を切ってお買い上げの販売店にお申しつけください。</td> </tr> <tr> <td>点灯</td> <td>登録操作をしていない</td> <td>コントローラにて登録操作をしてください</td> </tr> </table> <p>※ M-NET を使用しない場合は、LED2 の点滅・点灯は異常ではありません。</p>	1 回 ~ 8 回	M-NET 通信上の異常	電源を切ってお買い上げの販売店にお申しつけください。	点灯	登録操作をしていない	コントローラにて登録操作をしてください															
1 回 ~ 8 回	M-NET 通信上の異常	電源を切ってお買い上げの販売店にお申しつけください。																				
点灯	登録操作をしていない	コントローラにて登録操作をしてください																				

- リモコンに異常情報が表示されたときはリモコンに付属の説明書に従って処置してください。
- 外部機器の信号で運転させる場合はロスナイに電源が投入されてから約 2 分後に運転します。

三菱電機株式会社

中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号

この説明書は、
再生紙を使用
しています。